

そこで、蛇は女にいった。「あなたがたは、決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」

創世記 3 : 4-5

人はそれぞれ自分の欲に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです。欲がはらむと罪を生み、罪が熟すると死をうみます。

ヤコブ 1 : 14-15

アダムとエバにどのようにして、肉の属性が入ってきたのでしょうか？

エバはサタンが投げかけた「神のようになる」という言葉を退けないで、受け入れました。するとその瞬間、「欲」という罪の性質が心に入り、からだと結びついて「肉」が生まれました。「欲」という罪の性質は、神のことばに聞き従わない「罪の実」を結ぶようになりました。真理に満たされた存在であっても、自由意志によって、エバは自らサタンに惑わされて肉の属性を受入れました。そして、アダムは自らエバの言葉を受け入れたのです。

### アダムとエバの背景

アダムは、神様から命の息を吹き込まれた霊的な存在でした。しかし、根本の成分は地球の土で造られたので、他のものと交わると変質する性質がありました。罪と悪がなかったアダムとエバは、罪のもたらす痛みや苦しみを経験したことがなく、罪とは何か、罪が何故いけないのかを心から感じるできませんでした。つまり、相対性人間耕作を体験していなかったのです。



いつも目を覚まして、サタンの策略を見抜くことができますように、聖霊様助けてください。



そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。

創世記 3 : 6

「すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。」とあります。

ヨハネの手紙第一 2 : 16

今日は、エバがどのように「罪の実」を結んだのかを学びます。

エバがサタンが投げかけた「神のようになる」という言葉を受け入れた瞬間、「欲」という罪の性質が心に入り、それがからだと結びついて「肉」となりました。エバの心に「肉」の働きが始まり、エバの善悪の知識の木の実を見る目が変わると、「まことに食べるのに良く」という肉の欲、「目に慕わしく」という目の欲、「いかにも好ましかった」という「暮らし向きの自慢」があらわれました。このように、はらんだ「欲」は、み言葉に聞き従えない罪の実を結び、罪が熟すると死に至る次元になりました。

### アダムとエバに現れた三つの欲求

#### 「肉の欲」

肉に従って罪を犯したいという属性です。食べてはならないという神の命令を破りたい心、逆らおうとする心、すなわち罪を犯そうとする心が芽ばえたのです。

#### 「目の欲」

「目の欲」は目で見て、耳で聞くことを通して心が揺れ動き、肉に属するものが良い感じとして入力されて、それを見たり聞いたりすることによってそれを追い求め罪を犯させようとします。

#### 「暮らし向きの自慢」

現実のすべての享樂を追い求めて、自分を目立たせて自慢しようとする属性です。



目に見える罪だけでなく、見えない罪にも、み言葉で心を照らし、肉の行いを断ち切って、いつも目を覚まして祈りましょう。



このようにして、ふたりの目は開かれ、それで彼らは自分たちが裸であることを知った。そこで、彼らは、いちじくの葉をつづり合わせて、自分たちの腰のおおいを作った。」

創世記 3 : 7

### アダムとエバの靈的死とたましいの働きのはじまり

アダムとエバには、すでに心からだと結びついた罪の性質が「肉」としてあって、神の命令に逆らって善悪の知識の木の実を食べる「肉の行ない」を犯しました。彼らが不従順の罪を犯した瞬間、神との関係が断たれ靈の氣運が供給されなくなり靈的な死が訪れました。そして、しだいに肉の氣運に満たされ始めたふたりを靈に代わってたましいが支配するようになります。

「ふたりの目は開かれ」とは「たましいの働きが始まった」という意味です。ふたりにたましいの働きが始まると、自分たちが裸であることを知って、いちじくの葉をつづり合わせて、自分たちの腰のおおいを作りました。

### 肉に属するたましいの働き

アダムとエバが善悪の知識の木の実を食べた後善と悪を知るようになったことが問題ではなく、彼らの心にすでにあった肉のゆえに、肉に属するたましいの働きが始まり、肉の思いが起きるようになったことです。肉の思いはすべての罪の始まりであり、闇の支配を受けるからです。

「肉の思いは死であり、御靈による思いは、いのちと平安です。というのは、肉の思いは神に対して反抗するものだからです。それは神の律法に服従しません。いや、服従できないのです。

ローマ 8:6-7



欲が目に入ると、欲の多いがパン種のように膨らみます。  
その思いを打ち砕くために、心を砕いて祈りましょう。

